

個別事業(取組)評価

事業No.	25	施策の柱への位置付け	柱④ 心の教育改革	
事業名称	温かい学級づくり応援事業		担当課	人権教育課
			当初予算額(千円)	5,841
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	5,555

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県の生徒指導上の諸問題に関する課題は、改善傾向にあるものの依然厳しい状況がある。 Q-Uアンケートへの取組や具体的な活用について、担任や学校間での格差が見られる。 <p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校等の問題行動について、予防的な支援や早期発見等の支援が十分でない。 平成22年度末の学級担任に対するアンケート結果から、Q-Uの活用について個々の教員の力量に任されていることが多く、担任によって活用の度合いに差があることが分かった。 	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果では、不登校の出現率は微増している。(H21:1.27%⇒H22年:1.32%)</p> <p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>市町村教委や学校の不登校対策に対する意識は確実に向上しているが、全体的に学校・学級風土が大きく改善されておらず、予防的な視点を有した組織的な取組が十分でない。また、学校全体としてQ-Uアンケートの具体的な活用を図っていくことに弱さが見られている。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> 各市町村にQ-Uを活用しながら学級経営を支援する「学級づくりリーダー」を育成する(県内60名)。 Q-Uアンケートの活用率を向上させる(H22:86%)。 Q-Uアンケートにおける学級生活満足群に位置する児童生徒の割合を高める。 研究協力校3中学校における生徒指導上の諸問題(長欠、不登校生徒数)の出現率を減少させる。 <p>【検証(比較)方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級づくりリーダーに対する意識調査の比較 市町村教育委員会から提出される実績報告書 学級担任に実施する調査票の集計結果 研究協力校3中学校における研究成果 	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>適切な目標の設定であった。</p> <p>エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級づくりリーダー養成研修会を通じて、県内市町村に60名のリーダーを養成することができた。 活用意識調査の結果から、Q-Uアンケートの教員の活用率は、平成22年度の86%から88%に上昇した。 Q-Uアンケート実施率は100%となり、県内全ての小中学校に普及させることができた。(33市町村から計1,817学級分の申請) 学級生活満足群に位置する児童生徒の割合は、わずかではあるが増加した。(H22:58.5%⇒H23:58.9%) 研究協力校3中学校では、各校の課題に応じ、Q-Uアンケートを活用した実践的な研究が進んだ。成果と課題については、学級づくりリーダー養成研修会で報告することができた。1中学校において、長欠、不登校数を減少させることができなかった。
③	実施内容(Input・Output)	<ul style="list-style-type: none"> Q-Uアンケートの配付 <ul style="list-style-type: none"> 全公立小中学校の児童生徒(小3～中3)を対象に、2回実施のうち1回分を配付 学級担任に対して年度末に調査を実施し、活用意識と児童生徒の学級生活満足度の経年的変化を把握 学級づくりリーダー養成研修会の実施(全6回) <ul style="list-style-type: none"> 不登校を生じさせない学級・学校づくりを各市町村で推進するために、学級経営の基本を身に付けた「学級づくりリーダー」を養成 第3回を「学級経営支援講座」として、県外講師を招聘し、Q-Uアンケートを活用した学級の理解と対応について研修を実施 学級づくりリーダーの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 在籍校等での校内研修やQ-U分析の支援 Q-Uアンケート活用のための研究協力校指定 3中学校を指定し、課題解決のための継続的な支援に入るとともに、県外講師をスーパーバイザーとして派遣 リーフレットの作成・配付 <ul style="list-style-type: none"> 学級経営の基本や効果のあった取組をまとめ、地教委へ配付 	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> Q-Uアンケート1回分を配付することができた。 学級づくりリーダー養成研修会全6回を実施した。県外講師を招聘し、「学級経営支援講座」を8月1日に実施した。学級づくりリーダーの役割やQ-Uアンケートを活用した学級経営について研修し、意識を高めた。 学級づくりリーダーへの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 校内研修46回、分析検討相談38回 計84回 研究協力校3中学校には指導主事が継続的に支援に入り、県外講師のスーパーバイザーも受けながら、各校の研究員を中心に課題に応じた研究を進めた。 リーフレットの作成・配付 <ul style="list-style-type: none"> 学級経営の基本や効果のあった取組をまとめ、各教育委員会、小中学校等に配付した。
		<p>目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/></p> <p>【総合評価】</p> <p>取組を始めて4年間、本年度のQ-Uアンケートの小中学校における実施率は100%となり、県内に普及させるという当初目標を達成することができた。教員のQ-Uアンケートの活用率や、学級満足群に位置する児童生徒の割合も年々着実に上昇しており、児童生徒理解や学級集団理解のためのツールとして定着してきた。</p> <p>今後は、個々への対応はもちろんのこと、予防・開発的な観点から温かい学校・学級づくりが推進するよう、日々の授業改善や人間関係づくり等を通じた具体的な活用をさらに進めていくことが必要である。</p>	<p>【今後の方向】</p> <p>平成25年度までの3年間の取組を通して、県内に180名の学級づくりリーダーを養成するとともに、重点支援地域の取組の成果を県内に広げることにより、温かい学級づくりの取組を推進し、不登校児童生徒の減少につなげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 学級づくりリーダー養成研修会(年間6回)を実施し、市町村から推薦された県内60名のリーダーを養成する。 リーダーが各学校や地域で活躍できるように、各市町村と連携してリーダーを支援する(校内研修会・分析検討会等)。 Q-Uアンケートの活用重点支援地域(安芸市)を指定し、hyper-QUを活用した温かい学級づくりに取り組む。
総合評価と今後の方向			